

CB・LS試験装置

TA-2500シリーズ

■ 概要

TA-2500シリーズは、同じ試験現場で使われることが多い遮断器動作試験装置と断路器動作試験装置の二つの機能をコンパクトに集約した装置です。

操作はワンタッチで、試験作業の省力化ができます。

試験結果は、数値とともに、接点動作や駆動電流波形をグラフィック印字しますので、結果の比較、確認が容易です。接点のクローズ、オープン動作時のチャタリングの状態などもひと目で確認できます。

接点ストロークカーブの測定できるタイプ(TA-2510)もあります。



■ 特長

●ワンタッチ操作で試験開始

- ・手動の開閉操作の他に、各試験項目をワンタッチで行えるワンタッチ試験機能を装備

●多彩な入力、多様な機能

- ・主接点(3CH)では抵抗入り接点の動作判別が可能
補助接点入力(4CH)によりパレットスイッチなどの動作状況が確認可能
- ・試験設定項目の保存、測定データの記録・再生が可能
- ・開閉駆動コイルの電流を直流クランプCT(オプション)で測定可能
- ・操作(制御)系と駆動系が独立している開閉機器にも対応

●ラインドットプリンタを採用

- ・試験状況(試験日時、天候、機器番号など)を各測定記録と共に印字
- ・T/C コイルまたはモータの電流波形もグラフィック印字可能

●軽量・コンパクト

- ・質量：約17kg
- ・外形寸法：430(W)×200(H)×340(D)mm

●接点ストロークカーブの測定可能(TA-2510のみ)

- ・外付ストロークセンサ(別売)を使用

■ 接続例



